

虎藏及職工代表六名、銀座三丁目、洋銀座銀座營業所ヲ訪レ
太田政彌、松崎清蔵、赤堀長橋、本務務課長、株工易長等、商會ノ職
工側ヨリ會社、發表セル値下案ハ経営上、欠陥ヨリ生レタル
欠損ヲ補填セシク為従業員ニ其ノ責ヲ轉嫁セムルモノニ
妥當ニアラカルヲ以テ今面、値下額ハ總括的半分ニセラレ
イト要求シタルニ會社側ハ全般發表ノ事ハ普通一割二分減額
定人（高齡者）ニ割六分減、平均一人二十四錢減ニシテ之加減
表ニハ慎重審議、上作成セルニニシテ過般爭議ニ於テモ
大・犠牲ヲ拂ヒ社會、批判ヲ度外視レ會社、原業ヲ固守シタ
ル事例ニ豈シテモ此際組合側ノ抗議ニヨリ云々スヘキ性質
ニ非ナルモ諸君、誠意ヲ詠トシ最後案トシテ
(一) 染色係請負員一人=付一日金十錢、割ヲ以テ後請負規定ニ
ヨリ利益金ニ付スル後配當ヲ准ス
但シ減給金十錢以下、者ハ減給額ヲ後配當ヲ准ス

(二) 利益金配當、清算ハ半期毎ニ准ス
(三) 清算期ハ次、二期トス

上半年期（自十二月三五月）下半年期（自六月至十一月）

(四) 期末ニ於ケル清算、結果利益配當金額カ半期間、後配當金

額ヲ無ヘタル場合超額額ヲ文給スルモノトス

(五) 本方法ハ昭和六年二月六日ヨリ向六ヶ月間試ニ実施ス
ト述ヘタルニ組合側代表者モ大体ニ於ニ異議ナキエ尚一般從
業員ト協議、上回答ナベシト至ヘ價銀問題ハ署結末ヲ見タル
ニ更ニ解雇問題ニ問シ代表者ヨリ極力考査方ヲ交渉シタルモ
本取締ハ強硬ニ拒絶シタル為並本虎藏ヨリ重役諸氏ハ工場
當事者ト協議、上具体的事実ヲ示シテ貰ヒ度イト迫リ之が解
決案トシ工場内各職場ニ於ケル人員、過不足等ノ細則的問題
ニ關シ明リ（四月）第二工場ニ於テ勞務課長等ト會見スハ
コトヲ約シテ辭去セリ